

# 第二十回 最終回

## 『楽しく学ぶ地域の歴史講座』

### 「御新田郷の成立と柳土手事件」

今からおよそ300年前の享保14年（1726）、四箇村を含む8ヶ村が御新田郷と呼ばれる広大な新田を開発しました。しかし、その新田の排水をめぐり、与板藩領の村山村などとの間に流血を伴うような激しい争いが起こりました。この争いの元となったのが、与板藩が慶安年中（1648〜1651）に築いた柳土手でした。この争いは柳土手事件と呼ばれ、昭和になるまで約200年続きました。

最終回では、後世に語り継ぐべき出来事として、四箇村の 사람들이 困難の中切り開いた御新田郷の有様とその恩恵、引き続いて起こった水をめぐる争いの経緯をわかりやすく解説します。

10月24日（金）

午後7時～8時30分

会場 四箇村ふれあい館研修室（燕市溝37-1）

講師 古谷 清麿 氏（歴史講座企画委員長）

入場無料。参加申込みは不要です。

皆様の参加をお待ちしております。

四箇村まちづくり協議会  
歴史講座企画委員会 主催